

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和特別支援学校（知的障がい部門）

評価・提言等	提言に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>1 学習指導 研修や事例研究会、実践報告会を実施し、学習指導の充実と専門性の向上に努めている。一人一人の児童生徒の障がいを理解し、実態に応じた支援・指導を工夫している。小学部から高等部までの系統だった「つなぎの支援・指導」に努めてほしい。</p> <p>2 生徒指導 感染予防に努めながら、学校行事や集団で取り組む活動を積極的に実施している。児童生徒には、今しか学べないことがある。「今」をキーワードにして児童生徒の指導・支援にあたってほしい。</p> <p>3 進路指導 今後も小・中・高等部が連携して、発達段階に応じたキャリア教育をより充実させてほしい。</p> <p>4 センターの機能 南予唯一の特別支援学校として、地域の学校に対する相談支援や研修支援などを行い、センター的機能を果たしている。地域の学校に対する指導や支援を更に積極的に行ってほしい。</p> <p>5 学校安全 施設・設備の大幅な改修等が進み、教育環境の整備が大きく進んでいる。このことについて、保護者に広く知らせほしい。また、放送設備等、今後も必要な箇所についての改修に努めてほしい。</p> <p>6 働き方改革 時間外勤務は、上限45時間以内が87%を占めており、メリハリのある勤務実態となっている。教職員の意見を反映した学校運営が行われている。今後も教職員の意見を大切にしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き各種研修会を実施し、児童生徒が主体的に学べる教材研究や教員専門性の向上を図る。教職員間でお互いの実践を学び合う機会を設け、系統だった指導・支援に努める。</li> <li>・集団活動の目的や内容を具体的に伝え、主体的・対話的な深い学びの機会を設ける。コロナ禍前のような多様な活動ができるよう実施方法を工夫する。</li> <li>・小学部や中学部の保護者にも配慮した進路情報を発信し、より一層、学部を越えた連携を図っていく。</li> <li>・研修や情報共有を通して、様々なニーズに対応する担当者の育成に努める。</li> <li>・市町の教育相談や連携協議会で支援や相談に応じることができる人材の育成と専門性の向上に努める。</li> <li>・今年度の大規模改修について、ホームページ上で発信し、広く保護者に知らせる。</li> <li>・今後必要と思われる施設・設備の改修について計画する。</li> <li>・面談等を通して、それぞれのワーク・ライフバランスについて共に考え、教職員の意見や要望を吸い上げながら学校運営に反映していく。</li> </ul>